

原材料回収スキーム構築WGにおける 進捗の報告

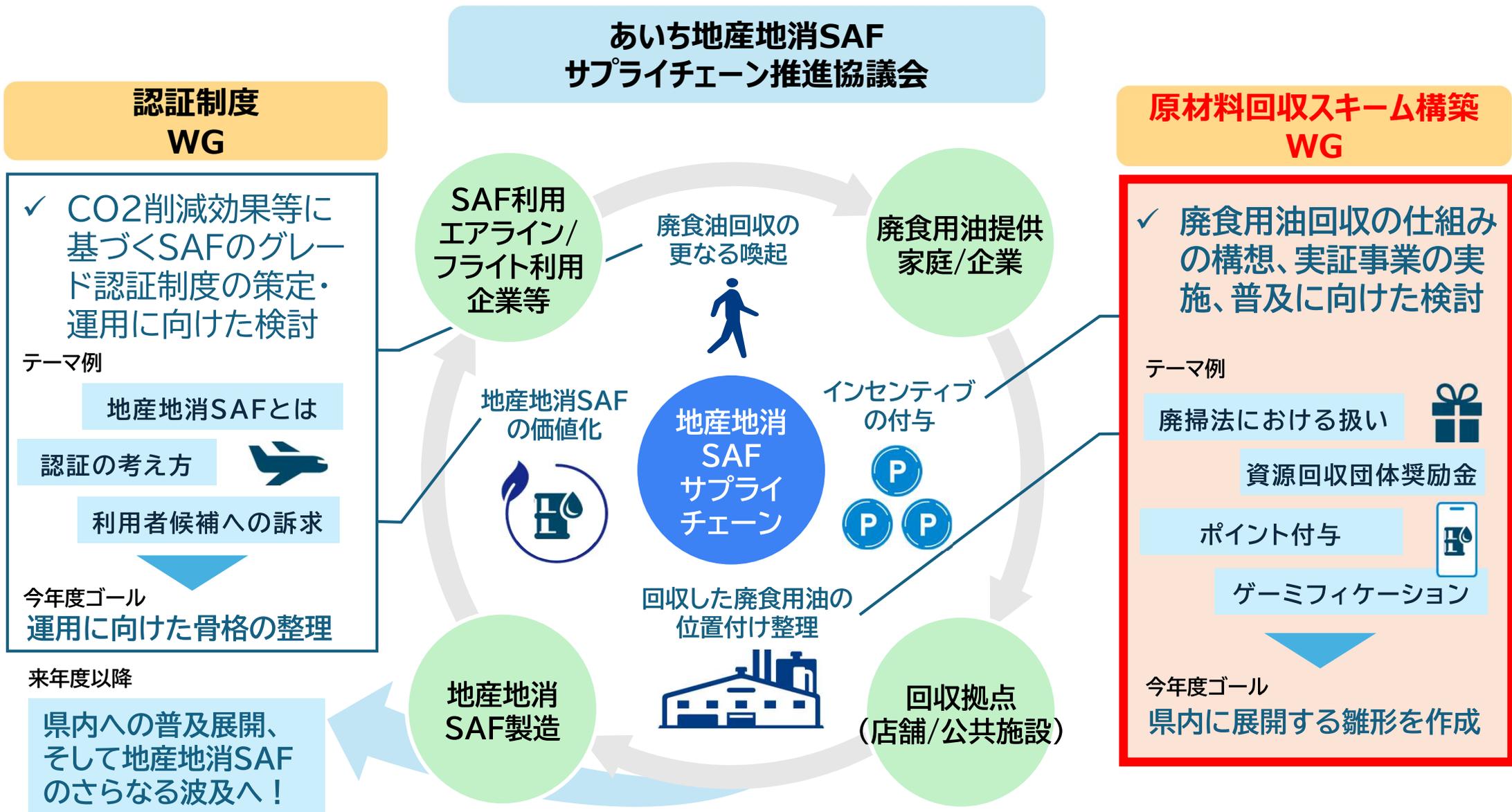


2026年2月

愛知県経済産業局
次世代モビリティ産業課

あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会の活動全体像・目指す姿

- 本推進協議会の活動の全体像は以下のとおり。プロジェクト提案企業である、株式会社レポインターナショナル、株式会社NTTデータとともに、以下に示す姿を目指していく。



■ 原材料回収スキーム構築WG（以下、回収WG）の目的

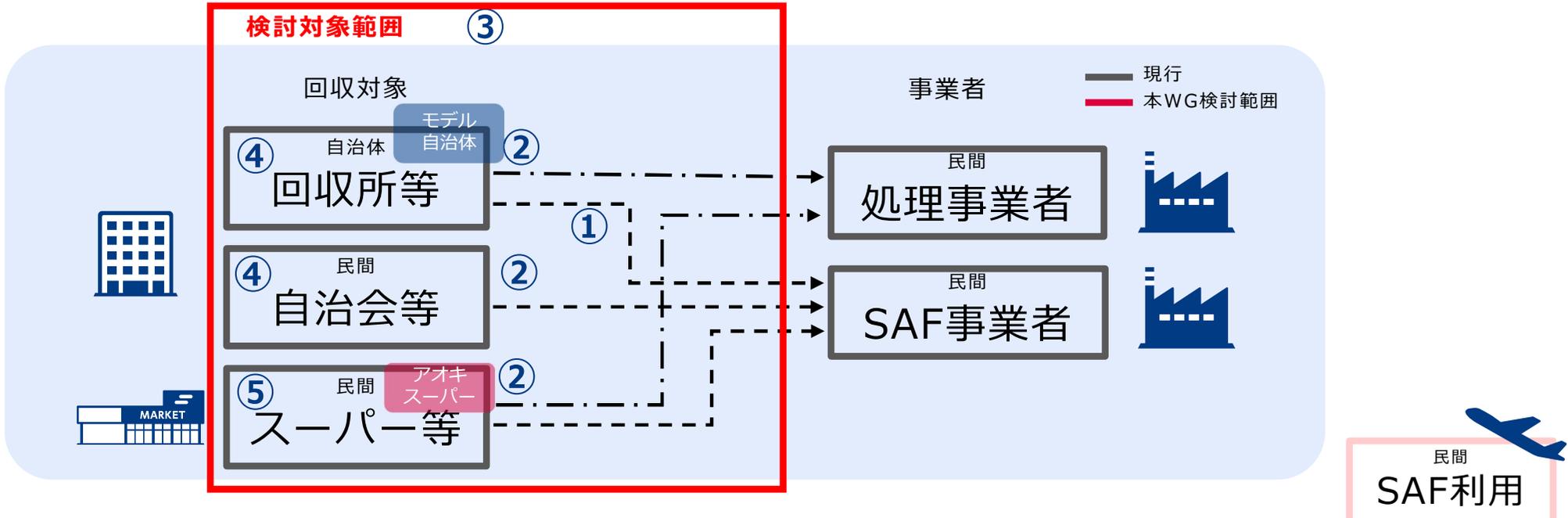
- ✓ 廃食用油回収の現状を整理し、WG参加メンバーの取り組みや課題感を共有することで、廃食用油回収の仕組みやあるべき姿について検討する。
- ✓ 自治体や民間事業者が廃食用油回収を開始または推進する際に参考となるようなガイドブックを作成する。

■ 回収WG実施概要

- ✓ 全4回開催：第1回 9月8日、第2回 10月27日、第3回 11月25日、第4回 1月19日
- ✓ 参加メンバー：レボインターナショナル、NTTデータ、アオキスーパー、春日井市、小牧市、豊明市（敬称略）

廃食用油回収に関する課題整理（課題の全体像）

本事業における回収実証を通じて検討するテーマを以下の通り整理した。

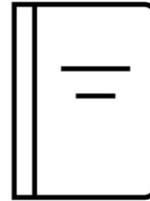


下線が本WGで扱った事項

廃食用油の流れ	回収方法・廃掃法関係	普及啓発・インセンティブ
① 自治体によるSAFへの廃食用油への振向け※ ※自治体による協定等を通じて進展	② <u>廃掃法上の解釈の明確化（家庭系の廃食用油）</u> ③ <u>新たな回収のあり方提示（民間活力の活用・回収支援アプリ活用等）</u>	④ 集団資源回収奨励金、 <u>自治体運営ポイント、出前授業等の普及啓発など自治体施策</u> ⑤ <u>スーパーでの回収インセンティブ</u>
・ 県内市町村解釈の整理（アンケート調査・ヒアリング） ・ 県環境局や環境省本省へのヒアリングの実施 ・ 民間取組事例の調査	・ インセンティブ付与（民間、自治体）事例の調査 ・ 普及啓発事業事例の調査 ・ 県民意識調査の実施	⑥ SAF利用インセンティブ※ ※認証制度WGにおいて別途進展

✓ ガイドブックへの取りまとめ

廃食用油回収推進のためのガイドブックを作成。
詳細は、後ほど説明（☞資料2-2）



ガイドブック作成にあたり調査・確認等を実施

- ✓ 県内市町村解釈の整理
⇒ 市町村へアンケート調査・ヒアリングを実施
- ✓ 廃食用油の廃掃法上の整理（家庭系）（3.3.2）
⇒ 県環境局や環境省（環境再生・資源循環局）
へヒアリングを実施し見解を確認
- ✓ 民間取組事例の調査

1. はじめに.....	1p
1.1 背景と目的.....	1p
1.2 SAFの製造方法と廃食用油等の原料の重要性.....	2p
1.3 本ガイドブックの普及により目指すもの.....	4p
2. 廃食用油の回収を推進するに当たっての前提.....	5p
2.1 愛知県内における廃食用油の発生状況.....	5p
2.1.1 発生源と処理責任者.....	5p
2.1.2 愛知県内における廃食用油の発生量.....	6p
2.2 廃食用油の回収手順と回収推進に向けた留意事項.....	9p
2.2.1 回収拠点の設置.....	9p
2.2.2 回収方法の選定.....	10p
2.3 市町村・民間事業者の役割.....	12p
2.3.1 市町村の役割.....	12p
2.3.2 民間事業者の役割.....	13p
3. 地産地消 SAF サプライチェーン構築のための回収等推進策.....	14p
3.1 民間の活力を活かした回収推進策.....	15p
3.1.1 事例① □回収拠点協力店舗の市町村拠点への取込み.....	15p
3.1.2 事例② □民間事業者の独自回収の推進.....	16p
3.1.3 事例③ □協力店舗に対する市町村回収拠点としての認定.....	17p
3.1.4 まとめ.....	20p
3.2 地産地消 SAF サプライチェーンに資する施策.....	21p
3.2.1 SAF への循環に向けた連携策.....	21p
3.2.2 廃掃法における位置付けの整理.....	24p
3.3 住民への普及啓発策・インセンティブ.....	28p
3.3.1 事例① 広告媒体を活用した情報発信【認知・理解】.....	29p
3.3.2 事例② 小学校における出前授業【関心】【行動・実践】.....	30p
3.3.3 事例③ 自治体ポイント制度を用いた普及啓発【行動・実践】.....	31p
3.3.4 事例④ 民間事業者の既存サービスを活用した取組【行動・実践】.....	33p
4. その他の公的支援制度の紹介.....	34p
4.1 国による支援制度.....	34p
4.2 市町村による助成の事例.....	36p

普及啓発について（イベント協力）

アオキスーパー全店舗 廃食用油店舗回収開始記念イベント （すてる油で空を飛ばうプロジェクト アオキスーパー・日本航空）

- ✓ 協議会会員である株式会社アオキスーパー及び日本航空株式会社は、2025年8月からアオキスーパー店頭での廃食用油回収を行う「すてる油で空を飛ばう」プロジェクトを実施。
- ✓ 2025年12月7日には、アオキスーパー全店舗（県内23市町村50店舗）での回収がスタート。それを記念するイベントに、協議会も協力参加し、協議会会長である大村知事が出席。
- ✓ 協議会は会場でのパネル展示やチラシ配布を実施。

アオキスーパーアズパーク店に！
モリゾーとキッコロ
& らこぽんが
あそびにくるよ！

アオキスーパー
公式キャラクター
らこぽん

愛知県 大村知事
スターティングセレモニー
にご出席！

あいちSDGs
アンバサダー
モリゾーとキッコロ

12/7日14:30~
すてる油で空を飛ばう®プロジェクト
スタートアップイベントに登場！

JAPAN AIRLINES すてる油で空を飛ばう®
プロジェクトとは？
ご家庭で使用済みの廃食用油を飛行機の燃料に含めることでCO2削減に大きく貢献します。

家庭系廃食用油の
回収をはじめます
JALオリジナル
UCOボトル
プレゼント

UCOオリジナルステッカー入り
※UCO Use Coating Oil(廃食用油)
※プレゼント量は14,200円(8杯)で限定です。

リサイクルBOXへの回収イメージ

UCOボトルプレゼント時 or ご購入時にもれなく！
オリジナルステッカープレゼント！
①パピタバガチャが回せます！

※詳しくは店内ポスターをご覧ください。 オリジナルステッカー→

JAL KID'S STUDIO
パイロットや客室乗務員の制服を着て
写真を撮ろう！
12:30~14:00
イベント広場に
集まれ!!

※写真イメージです。



Heart to SAF
Heart to あいち
Heart to FUTURE

あいち地産地消 SAF サプライチェーン推進協議会とは

2050年のカーボンニュートラル実現を図るため、企業や市町村等が連携し、愛知県内での廃食用油回収からその廃食用油を用いた SAF の生産、利用までを地産地消で行う仕組みづくりを自発して設立された協議会です。
（会長：愛知県知事、会長：43 企業・団体、2025/11/12 発足）

SAF Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料

地球環境に優しい航空燃料として、世界で導入が進められています。
この燃料は、使用済みの廃食用油（廃食用油）など、再生可能な素材を原料として作られているため、従来の航空燃料に比べて CO2 排出量を大きく削減することができます。
航空業界が取り組む気候変動対策の重要な手段として注目されています。

廃油のあとのお湯や
美味な揚げた油を
捨てていませんか？

燃やさず回収して、SAFの原料として
再利用することで、CO2削減に大きく役立ちます。
ぜひ、お近くの回収所へ持参をお願いします！

あいち地産地消 SAF サプライチェーンのイメージ

家庭等の SAF 原料 公共 企業

回収・運搬 生産 保管・供給 取引・利用

愛知県内の廃食用油回収の取り組み

企業での取り組み

自治体での取り組み

※詳しくは協議会ウェブサイトをご覧ください。



大村知事による
油投入

■ 小牧市小牧小学校の出前授業を視察

- ✓ 小牧小学校で実施した民間事業者連携による出前授業
 - アオキスーパー様によるSAFの認知向上および廃食用油回収参加に向けた啓発
 - 廃食用油以外のリユース・リサイクル品についても民間事業者にて授業を実施



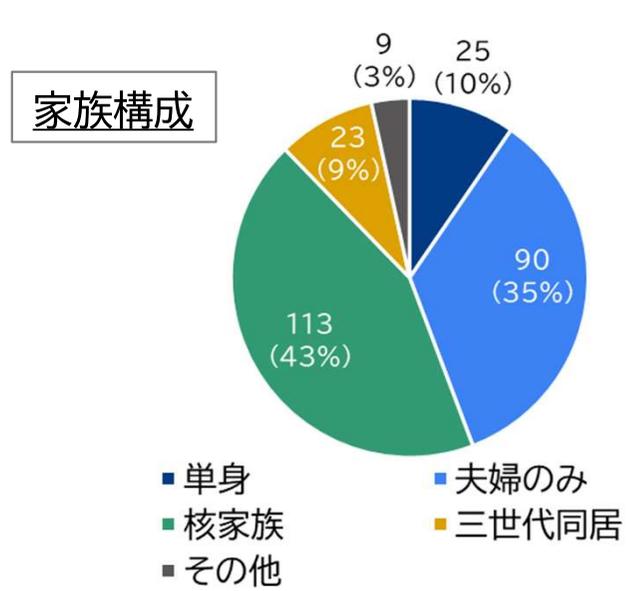
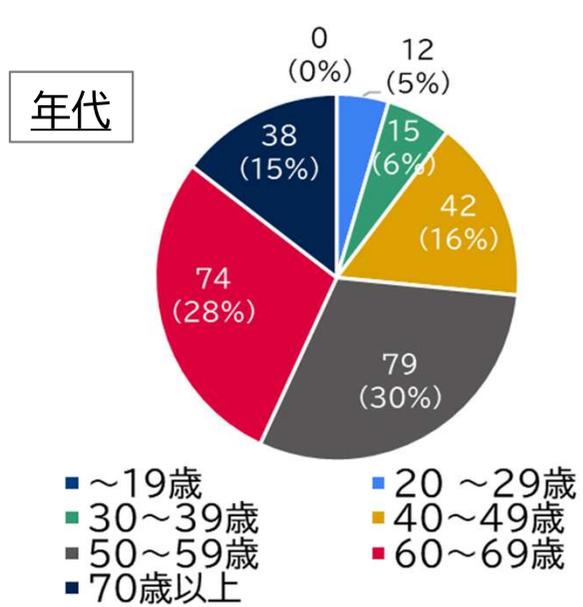
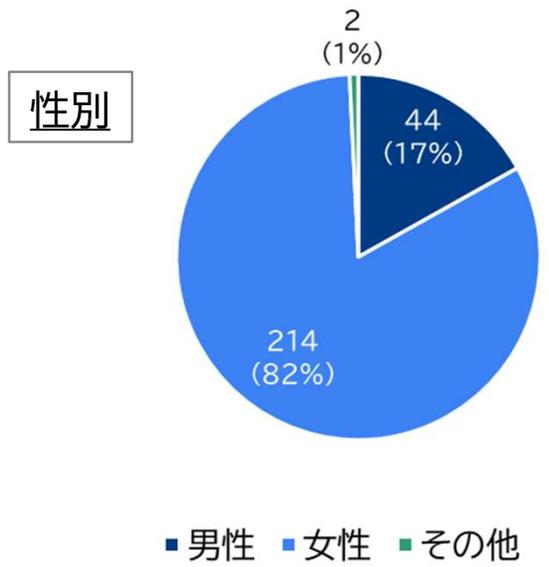
アオキスーパー様による出前授業の様子

県民意識調査の実施

■ アンケート実施概要

- ✓ 県民の廃食用油回収の認知度・参加状況や廃食用油回収に対する考えを把握し、今後の回収体制の改善や普及啓発策へ活用することを目的として実施。
- ✓ 実施期間：2025年12月1日（月）～2025年12月14日（日）
- ✓ アンケート実施方法：アオキスーパー様の販促チラシや公式X、小牧市・豊明市の廃食用油回収所、愛知県庁掲示板に掲載した二次元コードからアンケートフォームにアクセスし、web上で回答。
（不特定多数の個人を対象とした調査）
- ✓ 回答数：260件

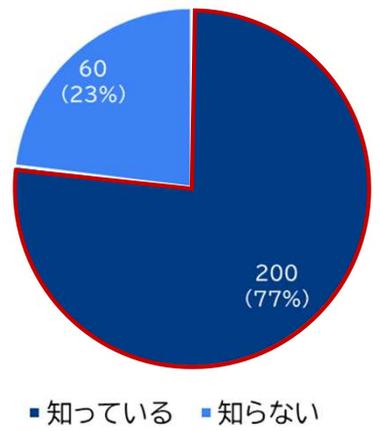
- アンケート回答者の多くはチラシ広告起点であったことから、**主婦層とみられる年代の女性からの回答が多くを占めた。**
- 家族構成については、**核家族および三世代同居の「子どものいる世帯」が過半数**を占めた一方で、単身世帯や夫婦のみの「子どものいない世帯」も半数弱を占めている。



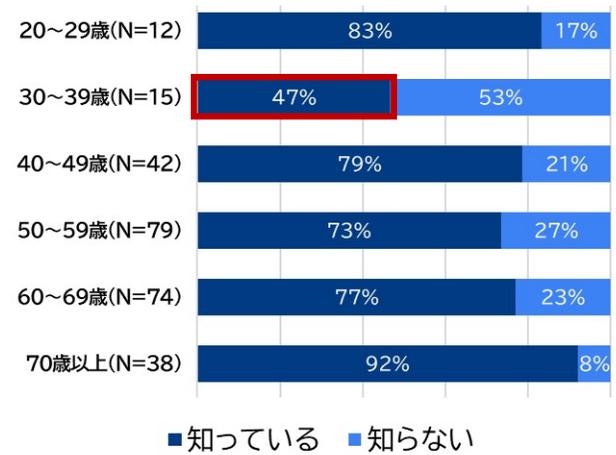
県民意識調査結果（廃食用油回収の認知度と認知した媒体）

- ▶ アンケート回答者の多くがアオキスーパーのチラシ広告起点であったことから、**廃食用油回収の認知度はアンケート回答者の77%**を占めた。年代別にみても30代を除き同様の傾向であった。
- ▶ アンケートへの参加経路廃食用油回収を認知した媒体は**スーパーなどのチラシ**が73%を占めたが、SNSによる周知は主に20代の若年層に一定の効果があることが確認された。

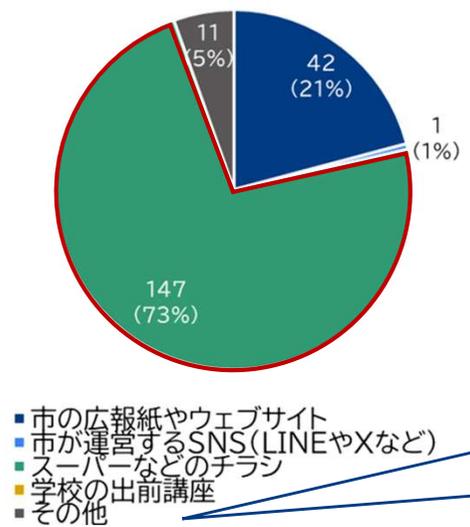
廃食用油回収の認知度



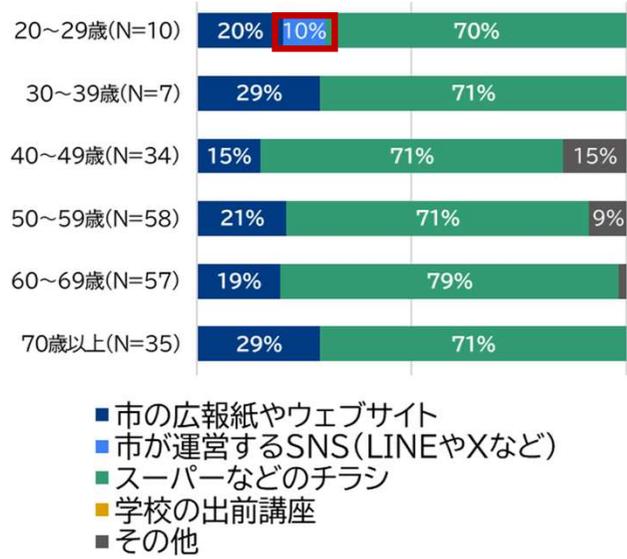
年代別認知度



廃食用油回収を認知した媒体



年代別認知媒体

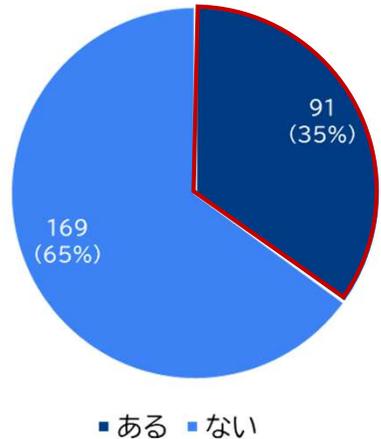


- その他の回答
- ・スーパーで見た(4件)
 - ・人から聞いた(2件)
 - ・新聞/TV番組
 - ・アオキスーパーのX
 - ・会社内で検討した

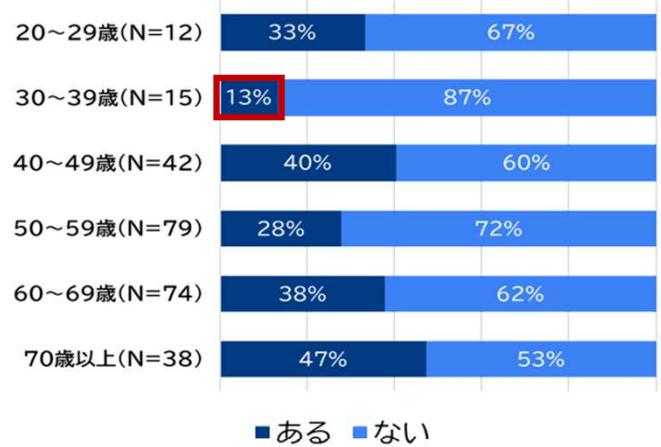
県民意識調査結果（廃食用油回収への参加状況と参加理由、継続参加意向）

- 廃食用油回収に対する認知度は高かったものの、実際に**参加したことがある回答者は35%**であった。30代は認知度が低い傾向であったが、廃食用油回収への参加も少ない傾向が確認された。
- 廃食用油回収への参加理由は**捨てるより環境に良さそうだったから**が95%を占めた。また、インセンティブの効果や出前授業の効果も確認された。
- 現在廃食用油回収に参加している人は、**今後の継続意欲が非常に高い**ことが確認された。

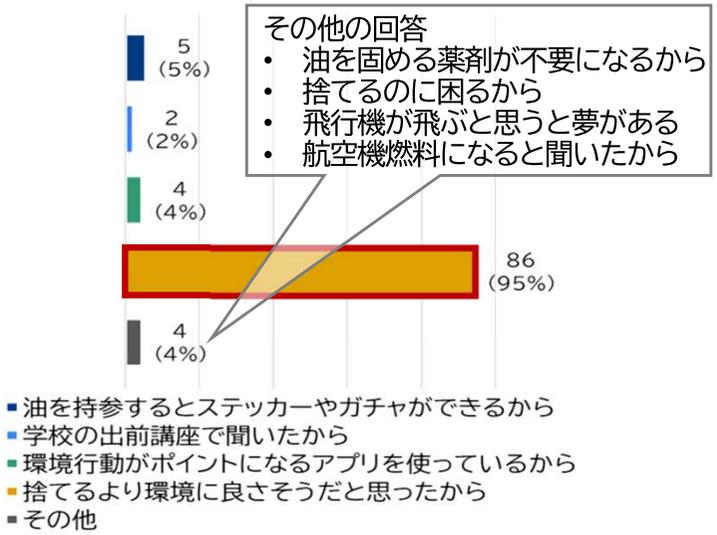
廃食用油回収への参加状況



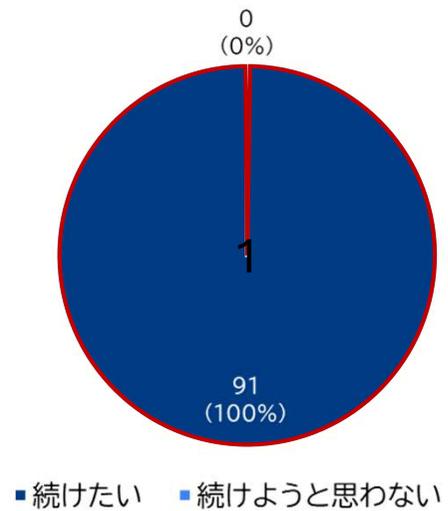
年代別参加状況



廃食用油回収への参加理由



継続的な参加意向



県民意識調査結果（食用油回収継続の際に希望するもの・こと（自由回答））

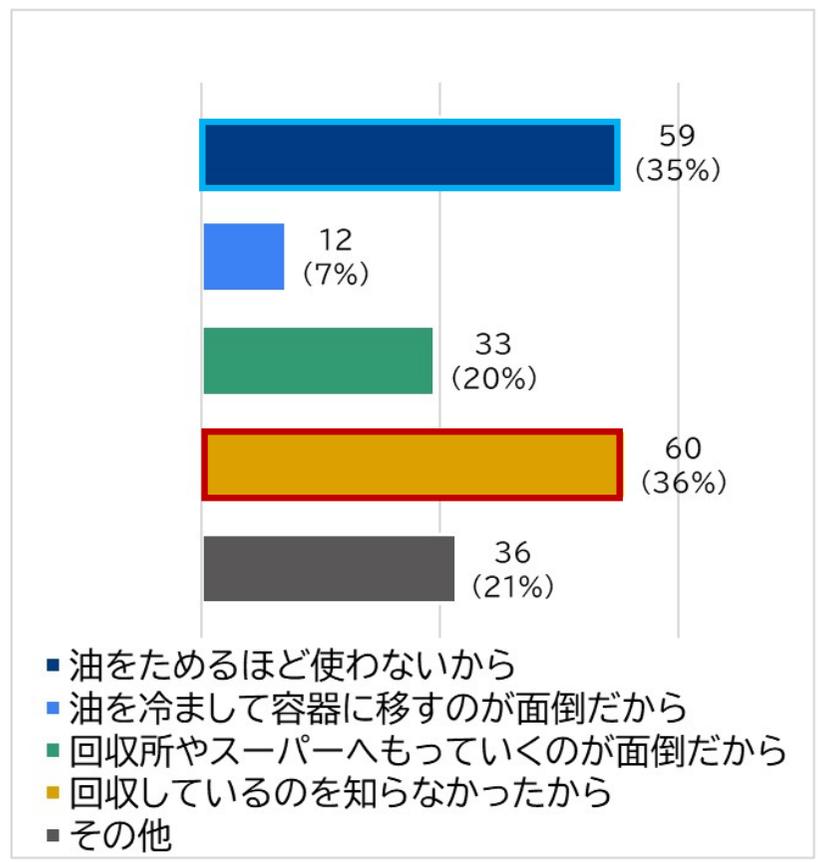
- **ポイント・クーポン等を希望する回答**が28件と最も多く、次いで**専用ボトル**を希望する回答が20件を占めた。一方で、専用ボトルではなく任意のボトルでの回収を希望する意見も6件確認された。
- 回収拠点の利便性に関するご意見も多く確認されたため、民間の回収拠点の推進は重要と考えられる。

項目	件数	主なご意見
ポイント・クーポン等	28	<ul style="list-style-type: none"> • 回収に参加する毎にたまるポイントが欲しい(7件)
専用ボトル	20	<ul style="list-style-type: none"> • 広口でこぼれないボトルが欲しい(3件) • ゴミを除去できる網などが付いたボトルが欲しい(3件) • 専用ボトルが交換できるとよい(3件)
任意のボトル	6	<ul style="list-style-type: none"> • 現在ペットボトルで回収しているため継続したい(2件)
回収拠点の利便性	13	<ul style="list-style-type: none"> • 回収拠点が少ない・遠い(8件) • 回収拠点にウェットティッシュ等を置いてほしい(2件)
その他	8	<ul style="list-style-type: none"> • 回収後にどのように利用されるか掲示されているとモチベーションが上がる • ボトルを入れる袋が欲しい • 手が汚れるため容器を持って買い物をするのは煩わしい。そのまま捨てられる仕組みがあるとよい。

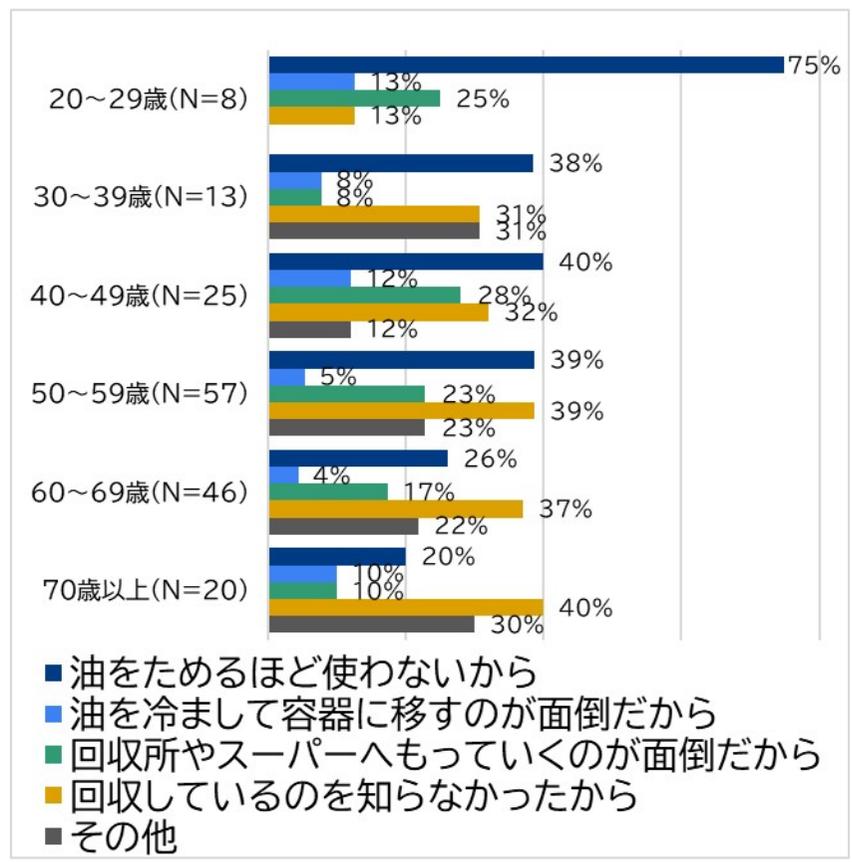
県民意識調査結果（廃食用油回収への不参加理由）

- 回収されていることを知らなかったが36%と最も多く、**廃食用油回収の普及啓発は有効な施策と推察される。**
- 35%を占める「油をためるほど使わない」層については、普及啓発等による参加率向上は難しい可能性がある。

廃食用油回収への不参加理由



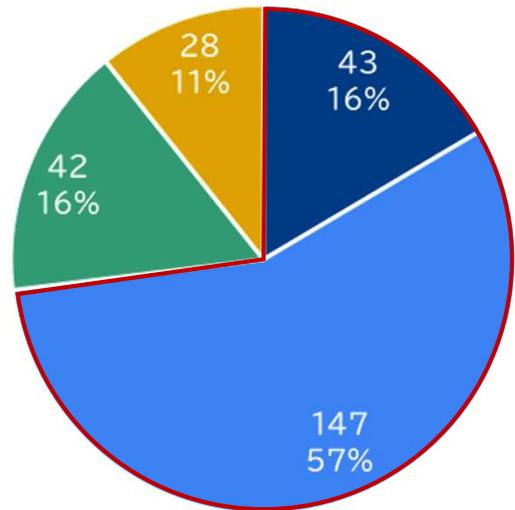
年代別不参加理由



県民意識調査結果（SAFの認知度と認知した媒体）

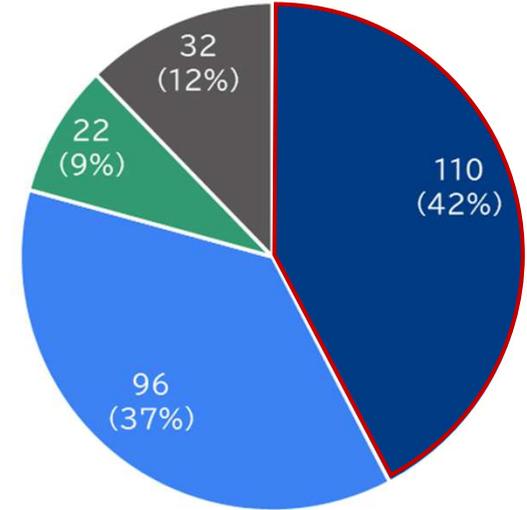
- 「よく知っている」「少し知っている・聞いたことがある」を合わせると7割以上がSAFを認知していることが確認された。
- **テレビ等の広告宣伝が最多**の42%、次いでスーパーのチラシ広告が37%を占めた。

SAFに関する認知度



- よく知っている
- 少し知っている・聞いたことがある
- あまり知らない
- 全く知らない・聞いたこともない

SAFを認知した媒体



- テレビ等の広告宣伝(SAF供給に関わる宣伝)
- スーパー等のチラシ広告(回収場所による宣伝)
- 空港や航空会社など航空関連会社・団体による宣伝
- 学校の出前講座
- その他

■ アンケート結果まとめ

- ✓ 廃食用油回収の認知度が77%と高い一方、参加率は35%にとどまっているが、現在参加している層は今後も**継続して参加する意向が非常に高い**。
- ✓ 参加理由の多くは環境配慮であるが、インセンティブや出前授業による一定の効果も見られた。
- ✓ 不参加理由には「回収されていることを知らない」「油をためるほど使用しない」といった要因に加え、「持ち込みが面倒」「回収場所が近くにない」など、**利便性の低さを指摘する回答も多く確認**された。

■ 今後の普及施策の方向性

- ✓ まだ廃食用油回収を認知していない層が多く存在することから、**廃食用油回収の普及啓発活動が有効**と考えられる。
- ✓ 若年層は、油の使用量が少ないことを不参加理由としている回答者が多かったものの、**ライフステージの変化等により将来的に回収参加が見込まれる層**であるため、SNS等による定期的な普及啓発による認知形成は重要な施策である。
- ✓ 回収時の利便性向上が回収量拡大の契機となり得ることから、**回収拠点の拡大や持ち込みし易さの工夫**なども普及啓発と合わせて実施することが肝要である。

1. 廃食用油回収推進のためのガイドブック（仮称）の活用

- ガイドブックを用いた県内市町村への各種施策実施の呼びかけ
- ガイドブックの継続更新

2. 普及啓発およびSAFの認知向上施策の実施

- 民間の回収拠点の拡大推進
- 普及啓発（イベントや出前授業等）の実施
 - 自治体と民間の協働による取り組み加速化

3. インセンティブ施策の実施

- 脱炭素エキデンの活用促進策検討
 - 自治体による周知や回収拠点での協力のあり方等を検討（仕組みの確認）
- 協議会企業の更なる参画の打診

4. 事業系廃食用油回収の拡大推進

- 施策例として自治体による取り組み企業の表彰や格付けなど